



いなざわ九条の会

第1号
〈2005年11月〉
発行
いなざわ九条の会事務局

作家の井上ひさしさんら9人の著名人が「平和憲法を守ろう」というアピールを発表して1年余。このアピールに応え、稲沢市で「いなざわ九条の会」が生まれました。このニュースは、会の第1号です。

戦後60年を経て、自民党はこのほど、日本を「戦争のできる国」にするための新憲法草案を発表しました。アメリカや日本の財界などの後押しを受けたものです。悲惨な戦争を体験した多くの国民は「二度と戦争はしたくない」との思いから、全国で九条の会を発足させています。

私たちも、全国の仲間たちと手をつなぎながら、「憲法九条を守ろう」の声を稲沢市民の大多数の声となるよう、活動を広げたいと考えています。

いなざわ九条の会が発足

総会に97人、よびかけ人は200人超

「いなざわ九条の会」の結成総会が11月13日、稲沢市勤労福祉会館で開かれ、市民ら97名(よびかけ人は203名=11月13日現在)が参加しました。あいち九条の会呼びかけ人の田口富久治氏(名古屋大学名誉教授)が講演し、「若い人に改憲派が多いといわれています。しかし、有事になって徴募されるのは若人であり、軍事行動で命を失うのは、この若人たちです。この層に働きかけを強め、誇りある九条を守るためにがんばりましょう」と訴えました。

総会は、7人の発起人のうち多忙な中出席された▽鈴木宏昌(元市教育長)▽竹本寛次(元朝日新聞編集委員)▽星野香(名古屋大学助教授)——の3氏があいさつ。鈴木氏は「戦争は獣道、人の道ではない。改憲を叫ぶ哲学のない政治屋が多くなっているが、平和を守るためにがんばろう」。竹本氏は、九条を守ろうと呼びかけた朝日新聞の意見広告の切り抜きを紹介しながら「私も微力を尽くします」と話しました。星野氏は、「権力者は九条を守る運動の盛り上がりや怖れている。憲法を変えない運動を続けていきたい」と、決意を述べました。

続いて田口氏の講演に移りました。田口氏は、現憲法が生まれた背景を戦争の教訓を交えながら説明。▽民主主義▽国際平和主義▽主権在民主義——を根幹とする現憲法は「私の誇りとなっている」と、語りました。その上で、軍事大国化が進むいまの状況を踏まえて「改憲して、日本が戦争のできる国になることに誇りを持つか、現憲法下で外国の兵隊や一般人を一人も殺したことがない日本に誇りを持つか、いま選択を求められている。私は平和な国をさらに発展させる方を選択したい」と、平和憲法を守る意気込みを話しました。さらに、先の衆院選挙結果による国会の党派別議席数と改憲勢力の動向にも触れ、「与党とはいえ、公明党を支える創価学会員には平和活動を勧める人も多い。九条の会は、こういう人たちも誘って幅広い運動をすすめるなければなりません」と、講演を締めくくりました。

総会は最後に、発足準備の中心となった準備会事務局の山田耕作さんが報告した▽準備会からの経過報告▽会の名称▽取り決め——などを了承しました。当面、たくさんの会員を募ることや、来年には大規模な講演会や催しなどを

開くために参加者が奮闘することを確認するとともに、16人の世話人を選出し、閉会しました。



発起人・鈴木宏昌さん(元稲沢市教育長)の訴えを聞く
=11月13日結成総会・稲沢市勤労福祉会館研修室

世話人の方々

愛葉 行徳	浅見 専司	安部 紀子
家田 修	今津 善昭	国枝 方子
鈴木 芳男	竹山 寛	茶原 正士
戸谷 政一	外山 宏行	原 幸子
山岸 専吾	古田 瞳	山田 耕作
山田美代子	※以上16名(11月13日現在)	

第1回世話人会開く

11月19日午後7時から、稲沢市民会館講習室1において第1回世話人会を開きました。

はじめに結成総会の感想やとりくみの反省点などを出し合いました。結成総会を終えて、よびかけ人は203名、会員は297名となったことが報告。そのあと、▽世話人会の運営、▽今後の活動について(講演会の開催など)を話し合いました。

また、会員相互のネットワークについても話題となり、事務局で準備を進めてきたホームページを、会の「暫定公式ホームページ」として確認しました。URLは、<http://www.himarayasugi.com/9jo/>です。ご覧になって、ご意見をお寄せください。

〈裏面の「入会のお誘い」をご覧ください〉